

作成日 2024 年 1 月 31 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：リンパ節における環境細胞を標的としたゲノム解析に関する研究

1. 研究の対象

筑波大学附属病院にて胃癌、大腸癌、肝臓癌、胆嚢癌、膵臓癌と診断され手術を受けられる患者様で、「診療で採取した組織、血液をつくばヒト組織バイオバンクセンターで保管することについてのお願い」(2016年9月～2023年4月30日)、及び「筑波大学附属病院で診療を受けられる患者さんへ」(2016年9月以前)にご同意くださった方のうち、手術において治療を目的に切除されたリンパ節が正常リンパ節と判断された患者様

2. 研究期間

研究実施許可日～2026年3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2020年2月1日

提供開始(予定)日：2020年2月1日

4. 研究目的

いわゆる「がん組織」には、がん細胞だけでなく、血管や炎症細胞などの環境細胞からなる「微小環境」が構築され、この微小環境ががん細胞の増殖や生存に関わっていることが分かっています。このうち、一部の血管細胞には染色体変異がみられることが分かっています。また、炎症細胞は造血前駆細胞(血液細胞を生み出す細胞)に由来しています。造血前駆細胞には加齢に伴って一定の確率で遺伝子変異が起こることが分かっています。これらのことから、造血前駆細胞に遺伝子変異を持つ患者さんのがん組織内には同じ遺伝子変異を持った血管細胞や炎症細胞が含まれており、がんの増殖に関与している可能性があるかと予想されます。同じがん細胞でも、がん細胞を囲む環境細胞に遺伝子変異があるかないか、またどんな遺伝子変異があるかによって、がんの性質や治療に対する反応が異なる可能性があるかと推測されます。

5. 研究方法

筑波大学血液内科では主に悪性リンパ腫におけるリンパ節の組織に含まれる環境細胞の遺伝子異常の分布と治療の効果の関係を調べます。東京大学大学院 新領域創成科学研究科および医学部衛生学教室では、リンパ節の組織における RNA やタンパクの分布を調べます。比較対象となる正常なリンパ節の環境細胞の解析が必要となるため、診断や治療のためには不要である余りの正常なリンパ節を解析させていただきます。消化器癌に対して、転移を想定したリンパ節の切除が治療の一環として一般的に行われますが、そのリンパ節のうち一部は転移の有無を調べるために検査に使用されますが、残りのものは基本的には用途がありません。この残余リンパ節のうちで肉眼的あるいは専用の検査でがんの転移がないと判断されたものを、正常リンパ節として遺伝子解析の対象とさせていただき、その中に含まれている環境細胞を抽出して解析させていただきます。

※本研究で得られた遺伝子解析の結果は開示されません(結果の解釈が難しく、患者さんの利益になる情報が得られないためです)。

※本研究で得られた遺伝子情報は配慮すべき個人情報に該当します。ただし、本研究においては、遺伝子情報からただちに個人を特定できない体制をとっております。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、病理診断結果 等
試料：リンパ節の生材料あるいは凍結材料等

7. 外部への試料・情報の提供

試料・情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、持参あるいは郵送により共同研究機関へ提供します。

対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

8. 研究組織

代表機関：筑波大学附属病院 筑波大学医学医療系 血液内科 坂田 麻実子

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 鈴木 穰
亀田総合病院 血液腫瘍内科 末永 孝生
虎の門病院 血液内科 梶 大介
東京大学 医学部衛生学教室 石川 俊平

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。使用する研究費は AMED 革新的がん医療実用化研究事業、AMED 次世代がん医療加速化研究事業、文部科学省科学研究費です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

11. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

12. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
担当者の所属・氏名：筑波大学医学医療系血液内科 坂田麻実子
住所：茨城県つくば市天王台 1-1-1
連絡先：電話 029-853-3127（平日 9～16 時）

当院の研究責任者：筑波大学医学医療系血液内科 坂田麻実子